

# 論文審査の要旨

報告番号	修第 1279 号	氏名	井口 暁洋
論文審査担当者	主査 関屋 昇 副査 宮川 哲夫 副査 佐藤 満		
(論文審査の要旨)			
<p>修士論文「3次元形態計測による日本人腰椎の形態特徴」は、腰椎に疾患の無い33名の男女の腰椎CT画像DICOMデータを、3次元解析ソフトを用いて3次元モデル化し、形態計測を行って、腰椎形態と性及び椎体高位との関連を明らかにした研究である。その結果、①腰椎体積は高位が低くなるほど増大し、男性が女性より大きいこと、②脊柱管最小面積は、男性が女性よりも大きく、高位の影響は女性には認められないが男性ではL5が他の高位よりも大きいこと、③脊柱管最小面積の縦横比は高位が低くなるほど小さくなる傾向が認められ、L5においてのみ性差(男性&gt;女性)があることを明らかにした。これらの結果は、腰椎の形態を新しい手法によって明らかにしたものであり、解剖学的基礎データとして、有用なデータとなる可能性が高い。また、本論文では、これらの結果をもとに、移動形態との関係、腰椎脊柱管狭窄症の診断・治療・リハビリテーションとの関連が議論されており、保健医療学に資する研究と思われる。</p> <p>以上の結果より、本論文が保健医療学修士の学位に相当するものと判断した。</p>			